

大会名 Competition	第26回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-114	Year Month Day Time 2013 年 5 月 5 日 13 : 35
場所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>市立船橋</b>	<table border="1"> <tr><td>23 1st</td><td>18</td></tr> <tr><td>22 2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>31 3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>23 4th</td><td>18</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	23 1st	18	22 2nd	10	31 3rd	17	23 4th	18	OT		チームB <b>洛南</b>
23 1st	18											
22 2nd	10											
31 3rd	17											
23 4th	18											
OT												
99 ○		63 ●										

主審:Referee 北沢 岳夫 岩手県  
副審:Umpire 加川 真 宮城県  
山田 俊 宮城県  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials  
能代松陽

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	阿部 諒	CAP	16	1	6	1	2	4	×	森井 健太	CAP	10	1	3	1	2
5	/	川島 翔吾		0	0	0	0	0	5	/	木林 千真		5	0	1	3	3
6	×	高澤 淳		32	8	4	0	3	6	×	渡部 裕地		13	1	3	4	3
7	×	山本 健太		11	0	5	1	2	7		竹村 蓮		-	-	-	-	0
8	/	榎 雄大		0	0	0	0	0	8	×	中島 海渡		10	0	5	0	1
9	×	佐々木 弘太		11	1	4	0	4	9	/	河原 圭汰		0	0	0	0	0
10	/	柘植 晴登		0	0	0	0	0	10	×	村井 大陸		5	0	2	1	0
11	/	山崎 豊		0	0	0	0	0	11		菅 祐史		-	-	-	-	0
12	/	八重澤 洋平		0	0	0	0	0	12	×	澤田 以緒		2	0	1	0	1
13	/	藤本 利樹		0	0	0	0	0	13	/	富田 頼		3	0	1	1	0
14	/	戸田 貫太		7	0	3	1	2	14	/	岡田 卓也		4	0	1	2	1
15	×	青木 太一		14	0	7	0	3	15	/	下田 忠至		4	0	2	0	0
16	/	杉田 涼		0	0	0	0	0	16	/	寺嶋 良		7	1	1	2	1
17	/	平良 彰吾		4	0	2	0	1	17		鈴木 悠介		-	-	-	-	0
18	/	山谷 雄大		4	0	2	0	1	18		矢野 広大		-	-	-	-	0
19	/			0	0	0	0	1									
20	/			0	0	0	0	1									
21	/			0	0	0	0	1									
コーチ		近藤 義行							コーチ		吉田 裕司						
Aコーチ		相川 宙輝							Aコーチ		作本 信夫雄						
合計				99	10	33	3	21	合計				63	3	20	14	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。序盤、市立船橋は#4阿部、#6高澤の連続3ポイントシュートで流れを掴むかに思われたが、洛南も#6渡部がインサイドで加点して流れを渡さず、一進一退の展開となる。どちらのチームも大きな流れを掴めないまま、18-17の1:25に市立船橋がタイムアウトをとる。これをきっかけに連続得点した市立船橋が23-18と5点のリードを奪って1Q終了。

2Q、市立船橋はディフェンスのプレッシャーを強め、洛南のミスを誘うと、#6高澤がこの試合3本目の3ポイントシュートを決めて32-22と点差を2桁とする。洛南もタイムアウトを取って立て直しを図るが、市立船橋の勢いは変わらず、#7山本、#15青木のオフェンスリバウンドを得点に結びつけてリードを広げる。2Qだけで12点差を付けた市立船橋が45-28と17点をリードして前半を終える。

3Qに入ると、市立船橋#7山本が存在感を増す。アシスト、オフェンスリバウンドでチームのオフェンスを引っ張り、自身も連続6得点する等、大車輪の活躍を見せる。何とか追いつきたい洛南だが、市立船橋の厳しいディフェンスを崩せずにフリースロー以外での得点ができない時間が続く。市立船橋は、3Q終了前には#6高澤がブザービーターを含む2本の3ポイントシュートを決めて76-45とさらに得点差を広げて3Qを終える。

4Q、市立船橋は速攻からの連続得点でさらに勢いづく、選手交代を繰り返しながら加点していく。洛南も#6渡部、#16寺嶋の3ポイントシュートなどで点差を詰めようとするが、市立船橋の勢いは最後まで止まらない。結局、99-63の大差で市立船橋が勝利した。